

11月のスペース・イオ よこて

「おはようございます」「さようなら」「ありがとう」など、周りの人から元気に挨拶をされると気持ちがいいですし、嬉しい気持ちになりますね。ただし、挨拶のタイミングがつかみにくかったり、お互いに恥ずかしかったりして、なかなか反応できないことがあります。そこで、11月のソーシャルスキルトレーニングでは、あいさつを取り上げました(今月のSST ニュースも参照)。ルールのあるゲームの中で、あいさつやお礼をすること、状況を見て依頼をしていくなど、コミュニケーションに必要なスキルを学ぶよい機会となったと思います。



また、「あいさつ・ペコリ強調週間」も実施しました。ゴールは、「挨拶+ワンフレーズ(今日は天気がいいね、昨日の〇〇見た等)」です! 何気ない挨拶から会話が生まれ、イオの仲間との関わりが深まることを願っています。

ゲームやネットに依存するお子さんたちへの支援

スペース・イオ よこて 主任 藤谷 淳一

「ゲームやネットから離れられなくなった子どもたちに、親はどう向き合っていけば良いか?」について、児童精神科医の吉川徹 先生は、著書の中で“右のワークの質問”を、保護者の方に一番に考えて欲しいと述べられていました。何をさせたいかではなく、①子どもの好きなことを見付けること、②いろいろな時間の使い方を教えていくことは、不登校やひきこもりのお子さんへの支援にもつながる点だと考えます。

同じく児童精神科医の関正樹 先生は、「子どもが好きなゲームの面白い所を3つ考えること」を推奨しています。大人がゲームを頭から否定していると感じると、子どもは人への相談(依存)ができなくなります。「なぜ止められないのか」と、止め時を考えたり教えたりする手がかりとして、子どもが今見ている世界に入っていくことも時には必要と感じます。

ワーク：ゲームやネットへの依存

- ①「子供がゲームやネットをやらなければ、何をしたいと思いますか？」
- ②「子どもが好きなゲーム(ネット)の面白い所を3つ教えてください」



教育相談等の問い合わせ先 秋田県立横手高等学校定時制課程 Tel 0182-32-2011

教頭 齊藤 正稔 主任 藤谷 淳一

「イオよこて通信」は、横手高等学定時制課程のホームページ(<http://www.yokote-h-tei.akita-pref.ed.jp/>) からダウンロードできます。

あいさつの練習にもなる「協力ポーカー」を紹介します

学習指導カウンセラー 江村 慎平

今月はSSTで、「協力ポーカー」というゲームをしました。コミュニケーションの練習にもなる、楽しいゲームです。

協力ポーカー やり方

- 1 ジョーカー以外の52枚のカードを用意します。
- 2 手札を5枚ずつ配ります。絵柄が見えるように自分の前に置いておきます。
- 3 残りのカードを場札として、絵柄が見えるようにそれぞれの手札の前に置きます。

普通のポーカーと同様に、手札で役を作っていきます。わかりやすく、ストレート（2、3、4、5、6などの数字の連続）や、フラッシュ（同じマークを5枚そろえる）などを狙うといいでしょう。

自分の手札からいらぬカードを出し、誰かの場札と交換して、役を目指します。その時、次のようをお願いをします。

お願いする人	お願いされる人
おはようございます、〇〇さん。	おはようございます、〇〇さん。
ちょっとお願いがあるのですが。	はい、なんでしょう。
そこにある、〇〇のカードと、わたしの〇〇のカードを交換してください。	はい、いいですよ。どうぞ
ありがとうございます。	いえいえ、どういたしまして。

というのが一通りの流れです。全員が1回ずつカードを交換したら、昼のターンに入ります。下線部の「おはようございます」を「こんにちは」に変えて、もう一周しましょう。それが終わったら夜のターンです。同様に「こんばんは」にあいさつを変えて、カードを交換していきます。

3ターンほど行くと、全員役がそろってきます。全員の役がそろうのを目指すのが、協力ポーカーの遊び方です。

ポーカーで遊びながら、「あいさつの練習」や「相手の名前を呼ぶ練習」ができる楽しいゲームです。ぜひやってみてください。

